

事務事業評価(事前評価)シート【令和6年度】

主管課(担当名)	【総務課】	事業区分	■実施計画 □重点プロジェクト
事務事業名	熱中症予防対策事業	事業番号	13048

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	1-01	健康づくりの推進
	施策目標	市民誰もが心身ともに健康な生活を送るまち	

2 事務事業の目的

目 的	令和5年8月の記録的な猛暑への対応を全庁的に取り組むため、大規模改修など多額の経費を要するなど空調設備の整備が困難な施設へ簡易的な空調機器を設置し、利用者等を暑さから守り、熱中症による健康被害を防ぐことを目的とする。
成 果	空調整備の未整備施設へ簡易的な空調機器を設置し、室内の温度調節を行うなど、熱中症による健康被害を防ぐとともに、気温が高い日に、一時的な退避(避暑)場所を設けるなど利用者が安心して施設を利用することができる環境を整備するもの。
実施方法	■直営(市が直接実施) □補助(民間等に補助) □委託(民間等に委託) □その他
事務区分	■自治事務 □法定受託事務

3 事務事業の概要

事務事業の概要	年 度	概 要						
	R2							
	R3							
	R4							
	R5							
	R6	スポットクーラーなど移動式冷風機の借上げ及び購入						
事業費と内訳	(単位:千円)		R2	R3	R4	R5	R6	総事業費
	事業費						6,000	6,000
	内 訳	国庫支出金						
		道支出金						
		地方債						
		ふるさと関連基金					6,000	6,000
		その他						
		一般財源						
	人員(人工)						0.25	0.25
	職員費(人員×7,262千円)						1816	1816
総事業費						7,816	7,816	
維持管理	管理主体		市					
	運営方法		機器の貸出等					
	維持管理費	施設維持費						
		概算人件費						
		合計／年						

4 事務事業の現状と課題

活動指標	指標名	計画値 (R5)	目標値 (R2)	目標値 (R7)
	移動式冷風機の貸出施設数	10施設	-	10施設
			-	
			-	
			-	
事務事業改善策 (継続事業のみ記入)				

5 事務事業の効果について

取組みに当たって期待される効果など	移動式冷風機を設置することで、利用者が安心して施設で過ごすことができ、また、外出する市民等がひと休みすることのできる場所の提供を可能とするなど熱中症による健康被害を防ぐ。
-------------------	---

6 評価の視点

ア. 市民ニーズ	☐ かなりのニーズがある ☒ ニーズはある ☐ ニーズはあまりない 施設利用者から公共施設における暑さ対策(空調機器の設置など)を希望する声は多い。
イ. 市が実施する必要性	☒ 市が実施すべきである ☐ 市の実施について検討の余地あり ☐ 市以外で実施可能である 主に公共施設への整備となるため市が実施すべき事業と考える
ウ. 事業の緊急性	☐ 緊急性が高い ☒ 緊急性はある ☐ 緊急性はない 猛暑による健康被害への影響などから緊急性はあると考える
エ. 手段の適切性	☐ 適切である ☒ 現状として妥当である ☐ 検討の可能性はある 施設へ空調機器を整備することが望ましいが、多額の経費が必要となり、また、時間も要するため、現状としては、移動式冷風機による対応が適切である。
オ. 事業の公平性	☐ 公平性は高い ☒ 概ね公平である ☐ 改善の余地はある 市民等の利用する施設への整備を優先的に行うなど公平性を視野に入れた対応を行う。
カ. 事業の有効性	☐ 本事業の有効性が高い ☒ 本事業の有効性がある ☐ 既存事業と大きな差はない 利用者等の熱中症による健康被害を防ぐとともに、利用者等が安心して施設を利用できる環境整備が可能となるなど、目的(成果)の達成に向け効果的である。

7 今後の事業の進め方

ア. 総合政策部で付された意見	【速やかに実施】 速やかに事業推進を図り、利用者が安心して公共施設等を利用することができる環境整備を進められたい。
イ. アを踏まえ、担当部局の方針	☒ 計画どおり着手が適当 ☐ 再検討し実施する ☐ 着手を延期する 7月中に空調設備等が未整備の公共施設等へ移動式冷風機を設置するなど環境整備に取り組むものとする。

作成年月 令和6年7月